

2019年9月6日

消化器外科・消化器内科に通院・入院された患者さんへ
病理検体及び診療情報の研究目的での使用について
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 膵臓腫瘍の病理組織学的な特徴の検討

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 香川大学医学部病理病態学・生体防御医学講座腫瘍病理学 教授 松田陽子

[研究の目的] 病理検査は病気の診断や治療法を決めるために行います。本研究では、病理検査のための試料の一部を用いて、膵臓の腫瘍に関連する変化を調べます。膵臓の腫瘍は、よい診断法や治療法が見つかっておらず、難治性の疾患です。本研究によって、膵臓の腫瘍の原因の解明や治療法の開発を目指します。

[研究の方法]

○対象

2019年9月1日以前に膵疾患のため病理検査(生検あるいは手術)を実施された方

○利用する検体・診療情報

検体：病理検査時に採取された検体

診療情報：年齢、性別、身長、体重、既往歴、血液所見(CBC、白血球分画、肝腎機能、腫瘍マーカー)、画像所見(造影dynamic CT、造影MRI、必要時PET-CT)、治療(手術内容、化学放射線療法内容、開始時期、有害事象など)、治療成績(術後合併症種類、重症度、在院日数、再発頻度、無増悪生存率、全生存率など)

[外部への検体・診療情報の提供]

該当なし

[外部からの検体・診療情報の提供]

該当なし

[研究分担者]

香川大学医学部 消化器外科学 教授 鈴木康之

香川大学医学部附属病院 消化器外科 准教授 岡野圭一

香川大学医学部附属病院 消化器外科 助教 大島稔

香川大学医学部病理病態学・生体防御医学講座腫瘍病理学 助教 成澤裕子

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1
病理病態学・生体防御医学講座 腫瘍病理学
電話 087-891-2109 FAX 087-891-2112

担当医師 松田陽子